

## 1 2. 応急処置（急性単純性歯髄炎）

### <到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従える
- ・ ステップごとに報告できる
- ・ 急患の受付ができる
- ・ 患者にこれから行うこと（応急処置）の説明ができる
- ・ 必要器材を用意できる
- ・ 適切なバキューム操作ができる
- ・ セメントを表示のとおり練和できる
- ・ 患者に症状と今後の治療について説明できる
- ・ 後片付けができる

### <設定場面>

患者は左下奥歯の間欠性、牽引性の自発痛を主訴に救急で来院した。今朝、冷たい水でうがいをしたところ急激に痛み出したとのこと。痛みの原因を診査し、応急的な処置を行うこととなった。

### <治療手順>

1. 救急患者受け付け 必要器材：診療申込書、カルテ

衛生士（助手）：簡単な事務手続きを行い、症状を把握して術者に連絡する。

歯科医師：衛生士（助手）に患者をチェアに誘導するよう指示する。

衛生士（助手）：待合室のほかの患者に対して説明を行い、順番が入れ替わることの許可を得る。

患者をチェアに誘導する。

2. 応急処置のための診査 必要器材：体温計、血圧計、電気歯髄診断器  
ミニウムシリンジ、ストッピング  
エックス線撮影セット

#### (1) 問診

歯科医師：全身状態を把握する。

患者の緊急症状について問診し、診査を行う。

衛生士：問診事項をカルテに記載する。

歯科医師：カルテをチェックし、サインする。

(2) 視診、触診、打診

歯科医師：診査により歯周組織・口腔に付属する組織の状態を確認する。

(3) 温度診

歯科医師：冷熱反応を歯牙冷却材・冷水・エアーの吹きつけなどで診査する。

(4) エックス線診査

歯科医師：う蝕や歯槽骨の状態を診査するためにエックス線撮影を行う。

その準備と補助を衛生士に指示する。

衛生士（助手）：エックス線撮影セットの準備と患者の撮影室への誘導を行う。

3. 応急処置      必要器材：CA用ラウンドバー#5、ミニウムシリンジ  
微温水、歯髄鎮静剤（酸化亜鉛ユージノールセメント等）  
紙練板、セメントスパチュラ

(1) 軟化象牙質の除去

歯科医師：軟化象牙質の除去と、う窩の清掃を行う。

その準備と補助を衛生士に指示する。

衛生士：除去中は軽くエアーを吹きつける。

患者の反応によっては綿球で窩洞をぬぐう。

除去終了後、加温オキシドール綿球を手渡し、さらに温水を入れたミニウムシリンジと交換し、患歯を避けた位置でバキューム操作を行う。

(2) 酸化亜鉛ユージノールセメントなどによる鎮静

歯科医師：窩洞を軽く乾燥し、簡易防湿ののち鎮静効果の高いセメント系の薬剤を充填する。

衛生士：薬剤を練和し、練板を患者の左下顎角部に差し出す。

右手には固く絞ったアルコール綿花を持ち、術者から返って来た探針を受け取って先を拭う。

充填が終了したらロール綿花を取り出し洗口を促す。

患者：洗口する。

(3) 処置内容の説明と帰宅手続き

歯科医師：衛生士に症状の説明と今後の治療の説明を指示する。

衛生士：簡単な症状の説明と、この処置は一時的なものであることを強調し、治療方針をたてて計画的な治療を行うための検査が必要な事を説明し、帰宅手続きを行う。

助手：後片付けをする。

## 1 2. 応急処置（急性単純性歯髄炎）

必要器材

- ①診療申込書
- ②カルテ
- ③体温計
- ④血圧計
- ⑤電気歯髄診断器
- ⑥ミニウムシリンジ
- ⑦ストッピング
- ⑧エックス線撮影セット
- ⑨CA用ラウンドバー#5
- ⑩微温水
- ⑪紙練板
- ⑫セメントスパチュラ
- ⑬歯髄鎮静剤（酸化亜鉛ユージノールセメント等）